

あなたは日差しがまぶしいとき何を身に着けますか。太陽の光から目を保護するためによく使われるものといえば、サングラスでしょう。その名前のとおり外で遊んだり運転をしたりするときに、日差しや照り返しから目を守るためのアイテムの一つです。

この起源には諸説あるようで、一説によれば、12世紀の中国で作られた眼鏡にすすを塗って黒くしたもののが始まりだといいます。これを必要としたのは裁判官だったそうで、彼らは法廷内の人々に表情を読み取られないようにそれを着けていました。つまり、目の動きを隠すために考案されたものだったのです。

また、これには現在の用途と同じような目的から発明されたとする説もあります。古代ローマ皇帝が催しなどを観戦する際、光で目が焼けることを防ぐために、エメラルドでできた眼鏡を使っていたことが始まりだとするものです。

現代では、単にまぶしさを軽減するだけでなく、紫外線をカットするなどの機能性を持つものがたくさん販売されています。また、さまざまな色や形のものがあり、おしゃれの小道具としても、世界中で愛用され続けているのです。

令和元年7月7日

ひまわり町子供会 御中

田中青少年会館

### 夏休みスポーツ大会開催のご案内

拝啓 盛夏の候、貴会ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当会館では、夏休みスポーツ大会を開催することとなりました。運動が苦手なお子様でも楽しんでいただける内容となっております。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので、貴会の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日は動きやすい服装でお越しください。

敬 具

記

1. 開催日時 8月10日(土)13時から15時まで
2. 場 所 田中青少年会館
3. 対 象 小学生とその保護者
4. 申込方法 別紙をご参照ください。

以上

わたしは長い間、日本で米が作られるようになったのは、弥生時代だと記憶していました。ところが、これを縄文時代だとする説があることを知ったのです。それを証明したのは土の中に残された小さなガラス片に似た物質だといいます。そのかけらは、イネ科の植物が、茎や葉を硬く折れにくくするために、土の中から取り込んだケイ酸から作り出す結晶です。植物の宝石とも呼ばれ、種類によって大きさや形に違いがあり、たとえ茎や葉が枯れたり燃えたりしてしまっても、これだけは残るのだそうです。

このかけらが、縄文時代の遺跡から見つかったため、日本では弥生時代よりも前に米作りを行っていたのではないかという説が生まれたのです。これは今のように、水田で栽培されたものではなかったとの見方がありました。似たような結晶は、アワが育った土の中にも残っていて、それらが近い場所で見つかったことから、どちらも畑で作られていたのではないかと推測されていたのです。ところが、水田栽培が行われていたとされる遺跡からも同様のものが見つかり、縄文時代の終わりごろから始まったという説が有力となっているようです。

はるか昔のことで、文献が残っているわけでもないので、さまざまな説があるのは当然ですが、科学が進歩することで、これまで正しいとされてきた事柄に変化があったり、あいまいだった真実が解明されたりするのは大変興味深いものです。

令和元年7月7日

海川市立第三小学校  
校長 浜口 義幸 様

春見美術館  
館長 飯田 みさ

日本画体験会のご案内

拝啓 仲夏の候、貴校ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当館では、普段あまりなじみのない日本画に気軽に挑戦していただける体験会を開催いたします。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので、貴校児童の皆さんにご紹介くださいますようお願ひ申し上げます。

敬 具

記

1. 開催日 8月17日(土)・18日(日)
2. 場所 春見美術館
3. 対象 小学4年生から小学6年生までの児童
4. 申込方法 別紙をご参照ください。
5. プログラム

時 間	内 容	担当
9:30~10:00	日本画とは	原口
10:00~10:30	絵の具を作つてみよう	森川
10:30~11:00	さまざまな技法で描こう	大木田

以 上

日本にやって来る外国人が好むスポーツといえば、何を思い浮かべますか。それはやはり相撲ではないでしょうか。他の格闘技とは明らかに異なる会場の装飾や雰囲気、力士の髪形やまわしなどのすべてが、いかにも日本らしくて素晴らしいと感じるようなのです。このように、国内のみならず国外からの人気も高い競技ですが、海外の人々から理解されにくい点もあるようです。その一つに、試合を取り仕切る行司の掛け声があります。

この競技には、各力士が名前を呼ばれてから取り組みを開始するまでに、時間の制限が設けられています。これがいっぱいになると、行司は彼らに声をかけて知らせます。そして、いよいよ取り組みが始まると「はっけよい」と発します。期待の大一番や接戦ともなれば行司も力が入り、その声は高らかに響き渡ります。これがどんな意味を持つのか、日本人でも知らない人は少なくないでしょう。これには諸説あるようですが、気分を高めて全力で勝負しようという意味の言葉が詰まって、このような掛け声になったといわれています。さらに、その後に「残った」と続けられますが、これはまだ力士が両者とも土俵から出でていないので、決着が付いていないことを会場中のすべての人に知らせるために連呼されるようです。

こうした言葉の意味をアメリカに住む友人に伝えたところ、彼女はますますファンになり、次に来日するときには実際に見てみたいのでチケットを購入してほしいと依頼されました。いろいろ調べているうちにわたしも興味が湧いてきたので、彼女と一緒に観戦してみようかと考えています。

## 第119回(令和元年7月) 日本語ワープロ検定試験 準2級問題(文書作成)

〔文書番号〕 杉歴発第25号

〔発信日付〕 令和元年7月7日

〔受信者名〕 静波生涯学習センター

センター長 森本 純一様

〔発信者名〕 杉田歴史博物館

館長 村野 光一

〔件 名〕 企画展開催のお知らせ

拝啓 盛夏の候、貴センターますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、深く感謝申し上げます。

さて、このたび当館では、企画展「昔の道具と遊び」を開催いたします。50年ほど前まで使われていた道具を多数展示する他、期間中はさまざまなイベントをご用意しております。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので、貴センター利用者の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

〔別 記〕 記

1. 開催期間 8月3日(土)～18日(日)
2. 開館時間 9時～17時
3. 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
4. 入館料 大人：800円 中学生以下：300円
5. 問い合わせ先 電話番号 0884-53-2718 担当：石井
6. 主なイベント

日 に ち	時 間	内 容	場 所
3日	10時～12時	草木染をしよう	アトリエ
4日		昔の遊び体験	講堂
11日	14時～16時	ギャラリートーク	企画展示室
18日		道具を使ってみよう	アトリエ

以 上

食品トレーやお菓子の袋など、わたしたちの周りはプラスチックの容器や包装であふれています。この現状を何とかしようと、欧洲連合では2030年までにこれらの使い捨て容器をやめ、すべて再使用または再生利用可能なものにすることを発表しました。これを聞いて思い出したのが、50年ほど前まであった日本の暮らしです。

そのころ、食べ物を包むには草木が使われていました。例えば、肉屋で買い物をすると商品は竹皮とその端を細く切ったもので包装されました。中華料理のちまきを思い浮かべてみましょう。これは、タケノコの外側をうろこ状にくるんでいる皮で、成長すると自然に落ちます。殺菌力があって乾燥しにくいので、肉やおにぎりを包むには最適だったのです。

もう一つよく使われたのが薄い木の板です。これはスギやヒノキなどの木材を紙のように削ったものです。昔はこれにお経を書いていたので、名称にはその字が用いられています。わたしが小さいころには、魚屋で刺し身を買うとこれにくるみ、それをさらに新聞で巻いて渡してくれました。現在ではなかなか見掛ける機会がなく、さみしく思っていましたが、普段よく口にするものに使われていることに気が付きました。それは、たこ焼きです。船の形をした容器に盛られた姿を見たことがある人は少なくないはずです。

他にも、少し厚めの板を使って箱にした折り箱と呼ばれる容器があります。この入れ物の歴史は古く、仏教伝来と共に日本にもたらされ、朝廷への献上品を包装したことがその起源だといわれています。その後は、明治後半から大正にかけて駅弁の容器として用いられ、一般の人々にも普及しました。第二次世界大戦中には、戦地に持参する弁当箱としても使われたそうです。

そして、これらは一度使用して捨てるのではなく、何度も再利用されていました。昔の暮らしには、資源を大切にする心が根付いていたのです。

## 第119回(令和元年7月) 日本語ワープロ検定試験 2級問題(文書作成)

〔文書番号〕 大読発第35号

〔発信日付〕 令和元年7月7日

〔受信者名〕 久保山商店街連合会

会長 川村 正三 様

〔発信者名〕 大野読書愛好会

会長 白田 英二

〔件 名〕 大人のための絵本展示会のご案内

〔本文〕 前略 このたび当会では、イラストが美しく、出版されてから年月が経過しても色あせない秀逸な絵本を集めた展示会を開催することとなりました。子供のころ、期待に胸を膨らませながらページをめくった、あの感動をもう一度体感してみませんか。

つきましては、下記のとおりご案内いたしますので、この機会にぜひご来場くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご来場の際に記念品引換券をお持ちいただいた方には、すてきなプレゼントを用意しております。

草々

〔別記〕 記

1. 開催期間 7月26日(金)～31日(水)
2. 開催時間 11時～20時
3. 場所 小宮文化センター
4. 主なイベント

日にち	時間	内容	場所
26日	18時～19時	講演「絵本でつながる」	
28日	11時～12時	読み聞かせ会	第2会議室
31日	16時～18時	手作り絵本講座	多目的室
	18時～19時	絵本セラピー	

※詳細は別紙参照

5. 問い合わせ先 電話番号 06-4187-2591 担当:近藤  
以上

-----きりとり線-----

記念品引換券

名前

年齢

電話番号

昭和中期という、現代のように簡単に情報を共有する方法が少ない時代に、日本中で大ヒットしたおもちゃがあります。それは当時「水飲み鳥」と呼ばれた商品です。わが家では物持ちの良い母が誰かから譲り受け、一度も使わずにしまい込んでいたのですが、流行が過ぎ去ってから押し入れから出してきました。昔ヒットしたと聞かされてもぴんと来なかったのですが、動きが面白いので飽きずに眺めていた記憶があります。

その鳥は、なぜかシルクハットで着飾っており、胴の部分は細長いガラス管で、中には着色した液体が入っていました。頭には目とくちばしがあり、卵形のお尻には緑の羽根が付いています。水を入れたコップを前に置いて、最初だけ少し頭を押すと、中の水にくちばしを浸すので、まるでそれを飲んでいるかのように見えます。その後、すぐに頭を上げてしばらくは前後に揺れていますが、やがてガラス管の中の液体が移動すると、また水の中に口の先を浸します。こうして何度も同様のことを繰り返すのです。

子供のころは、ゼンマイもなく電池も入れていないのに、一定の動作を継続するということが不思議でなりませんでした。構造を調べてみると、気化熱によって生じるわずかな温度差によって動いていたということが分かりました。お尻の部分には赤や青などに着色された液体が入っていますが、これは室温で液化、気化するものです。その動きを目で追えるように色を付けているのでしょうか。鳥のガラスの中は、この液体と気体で満たされています。まず頭部がぬらされると、それが蒸発して気化熱によって冷えます。すると上部の気圧が下がるため、胴体との気圧差によって液面が上昇します。そして液体が頭部へ流れ込んで重くなつて下がり、鳥が水を飲むような動作になるのです。このとき、今度は液体が胴部分となるガラス管を通して、お尻の方に移動し、重くなるので鳥は起き上がります。その後は、頭を冷やす水がなくなるまでこの動作を繰り返します。子供だけでなく大人までもが探究心をくすぐられる、大変よく考えられたおもちゃなのです。

## 第119回(令和元年7月) 日本語ワープロ検定試験 準1級問題(文書作成)

[文書番号] 西文発第18号  
 [発信日付] 令和元年7月7日  
 [受信者名] 古田東町内会  
 会長 増田 ゆり 様  
 [発信者名] 西山文化会館  
 館長 大野 純里

〔件 名〕 **花びら染め体験講座のご案内**

拝啓 盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
 さて、このたび当会館では、花びら染め体験講座を下記のとおり開講いたします。この講座は、身の回りの植物を使用して自然の面白さを再認識していただくことを目的としております。  
 つきましては、この機会にぜひご受講くださいますようお願い申し上げます。

なお、定員になり次第、締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

敬 具

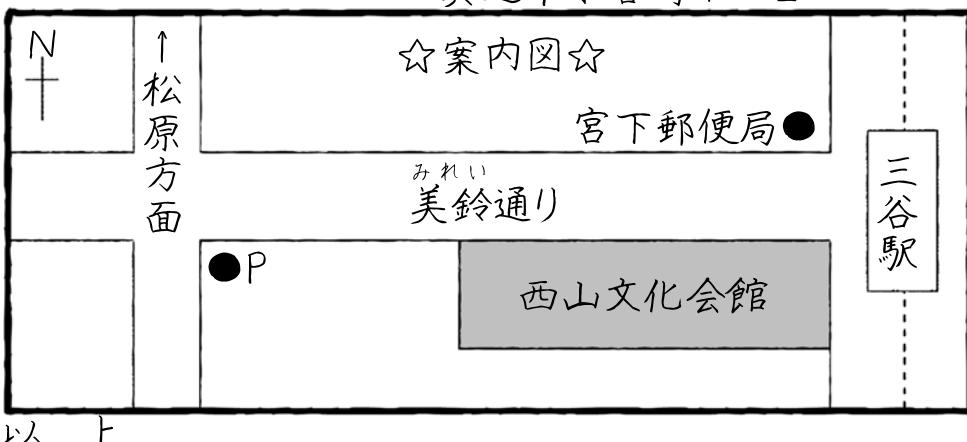
## 〔別 記〕

1. 開 催 日 8月9日(金)・10日(土)
2. 受 講 料 各800円 ※材料費含む
3. スケジュール

日 に ち	時 間	内 容	講 師
9日	9時～11時	Tシャツ	原田 香里
	13時～15時	ハンカチ	
10日	10時～12時	スカーフ	加藤 ゆきこ
	14時～16時	エコバッグ	

※詳細は別紙をご参照ください。

4. 申込方法 8月5日(月)までに、同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてお送りください。
5. 問い合わせ先 電話番号 050-4491-3762
6. 場 所 西山文化会館 多目的教室  
真辺市小宮町1-2



料理をする際、よく使われる道具にはしがあります。もちろん食べるときに用いられることが多いのですが、これは調理用としても古くから使用されています。食材をつかんだり混ぜたり、盛り付けたりと、非常に使い勝手の良い道具です。

用途別にさまざまな種類があるようですが、その中に「まなばし」というものがあります。先端が細くなった金属製の長い2本の棒で、手で握る部分には滑らないよう木の柄が付いており、滑りにくくなっています。一般家庭で目にする機会は、少ないかもしれません。形は菜ばしに似ていますがその用途は異なります。2本を利き手ではない方で持ち、まな板に載せた肉や魚を押さえるのです。そして包丁でさばくことで、直接手を触れなくて済むのです。菜ばしで試してみましたが、不器用なわたしはとても苦戦しました。生の肉や魚は滑りやすいので、やはり良い道具とプロの技が必要だと感じました。手を使った方が簡単のように思いますが、何か理由があるのでしょうか。

このはしの起源を見ていくと、室町時代の文献にその存在が示されています。その一方で、ある研究者はそれよりもはるか昔から使われていたと推測しており、祭礼で供物を用意する係が素材に手を触れて汚さないために考え出したといいます。これが時代とともに一種のショーとして変化していったとも述べています。古くから神事では肉も魚も生のまま食されていました。そして、こうした催しの雰囲気を盛り上げるために出し物の一環として、客の前で包丁さばきを披露したのです。やがて室町時代になると、その道のプロが出現し、まなばしを携えた彼らは幕府や大名に仕える職業となり、家元制度も確立されたようです。

ところが、19世紀に入ると、まなばしの出番は減っていきます。要因の一つは献立の変化だといわれています。南蛮から揚げ物が紹介され、茶の湯の流行によって懷石料理が発達するなど、献立は多様化します。さらに、中国からさまざまな食材や調理法などが伝わって、日本の食卓は変貌を遂げます。味や盛り付けが華やいだため、宴会の出し物として多用されることはありませんでしたが、今でも神事などでは、本来の使われ方をしています。さらに、プロの料理人はそれを盛り付け時に使用していますが、食材に直接手を触れないという意味では同じ用途だといえるでしょう。

## 第119回(令和元年7月) 日本語ワープロ検定試験 1級問題(文書作成)

[文書番号] 村青発第39号  
 [発信日付] 令和元年7月7日  
 [受信者名] 下田学園大学保育学部  
 学部長 今井 保夫 様  
 [発信者名] 村上青少年交流協会  
 会長 西山 のぶ子

[件名] 若者リーダー育成講座のご案内

[本文] 拝啓 仲夏の候、貴学ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当協会では、遊び場として開放されている「ありた自然学習センター」で子供の遊び相手をしたり、イベントでボランティアとして活動したりする若者リーダーの育成講座を下記のとおり開催いたします。今回は、仲間と共に森の中を歩いたり天体を楽しんだりしながら保育を学んでいただける内容となっております。

つきましては、貴学学生の皆様にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

敬具

[別記]

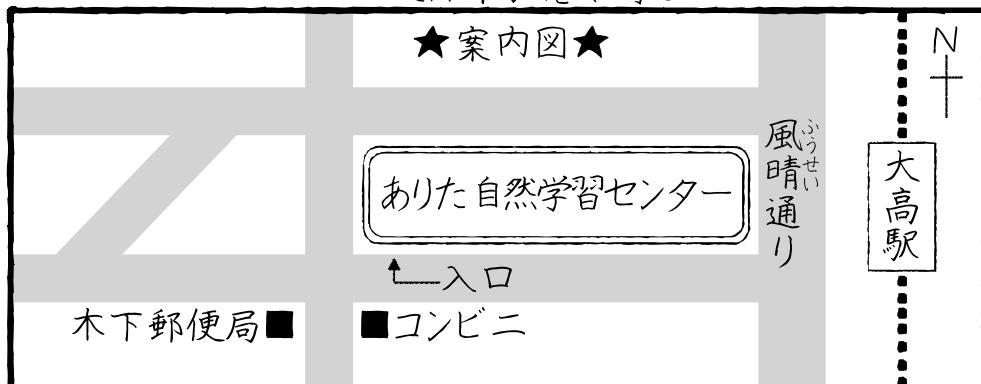
1. 開催日 8月10日(土)・11日(日)
2. 受講料 3,000円/2日間
3. 定員 20名 ※定員になり次第締め切り
4. スケジュール

日 時	区 分	内 容
10日	15時～16時	講義 講義
	16時～18時	テント設営と野外調理
11日	9時～11時	体験学習 自然散策
	13時～14時	講義 レクリエーションの基本

※詳細は別紙参照

5. 申込方法 8月2日(金)までに、同封の申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてお送りください。

6. 会場 ありた自然学習センター  
久保市かえで町3-2



以 上

わたししがつい買ってしまうものの一つに、素朴で味わいのある小さい焼き物の器があります。仕事で日本の各地へ行くときや海外出張の際などには、空き時間があれば宿泊施設の周辺を歩き回り、民芸品店を見つけるのが楽しみの一つです。そこには、地域の歴史や文化を体現するような魅力あふれる置物や人形、器などが並べられ、わたしの購買意欲を刺激します。自宅の棚には、こうしたコレクションであふれ、今では衣替えのように季節ごとに陳列内容を変えているほどです。

さて、わたしはこれまで、何げなく民芸という言葉を使ってきましたが、日本人がそうした品々に目を向け、その美しさや価値を意識するようになったのは大正時代末期のことだといいます。この言葉は「民衆的工芸」の略語で、著名な美術研究者が中心となり、生活文化運動が展開されました。

なぜそのような運動が起こったかというと、大正末期という時代が関係しているようです。近代化を急ぐ日本は、欧米諸国から先進的な機械や技術を積極的に導入し、安価な大量生産への道を進み始めました。そうなれば、これまで世間一般の人々が長らく愛用してきた職人の手仕事による生活道具が消えてしまうという危惧が生じます。それは同時に日本各地の文化までが失われることを意味するとして、美術研究者たちが動き始めたのです。それまでの日本における造形品は、鑑賞用に製作されていたので、華美な装飾を施したり、技巧を凝らしたりしたものが主流でした。それに対し、生活に根差した品は毎日使うことを前提としているので、当然のことながら、実用的であり頑丈なことが条件となり装飾を排したシンプルなものでした。また、地域ごとの生活様式に即し、安価なことも大きな要素の一つでした。

その美術研究者は、全国を歩き回って、地方色豊かな生活道具を収集し、自らの著書や伝統工芸品を展示するために開設した美術館でそれらを紹介しました。そのコレクションは、陶器をはじめ、織物や木工、ガラスなど多岐にわたりますが、どれも彼の厳しい審美眼や鋭い感性によって選択された素晴らしい品ばかりです。一度ぜひ実物を見てみるとよいでしょう。このような日本人の技術力が結集した道具たちを暮らしの中に取り入れ、手仕事の美を感じながら過ごす時間が、毎日をより豊かにするかもしれません。自宅の棚に並べた小さな器を大切に使おうとあらためて心に決めました。

## 第119回(令和元年7月) 日本語ワープロ検定試験 初段 問題(文書作成Ⅰ)

※ ( ) 内には適切な頭語・結語を入力しなさい。ただし、( ) は入力しないこと。

※構成要素を正しい順番に並べ替えしなさい。

※校正記号のある箇所は指示のように訂正しなさい。ただし、校正記号は入力しないこと。

[文書番号] 金医発第10号

[件名] 施設移転および利用料金改定のご案内

[本文] ( ) 仲夏の候、貴校ますますご発展のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、深く感謝申し上げます。

さて、このたび当館は、8月5日に移転する運びとなりました。医療の最先端に対応できる機器を多数取りそろえ、専門性の高い医療技術を訓練していただける環境が整っております。

つきましては、移転に伴い、下記のとおり施設利用料金を改定いたします。ご理解を賜りますとともに、今後とも当館をご利用くださいますようお願い申し上げます。

( )

[発信日付] 令和元年7月7日

[発信者名] 金子医療研修会館

館長 石川 良太

[別記]

1. 改定日	8月5日(火)
2. 開館時間	9時~21時
3. 改定内容	

施設名	利用料金(半日)		収容人数
	旧料金	新料金	
2階 研修室A	4,000円	5,000円	30名
3階 中会議室	6,250円	7,250円	50名
4階 研修室B			60名
特別会議室	7,000円	8,000円	100名

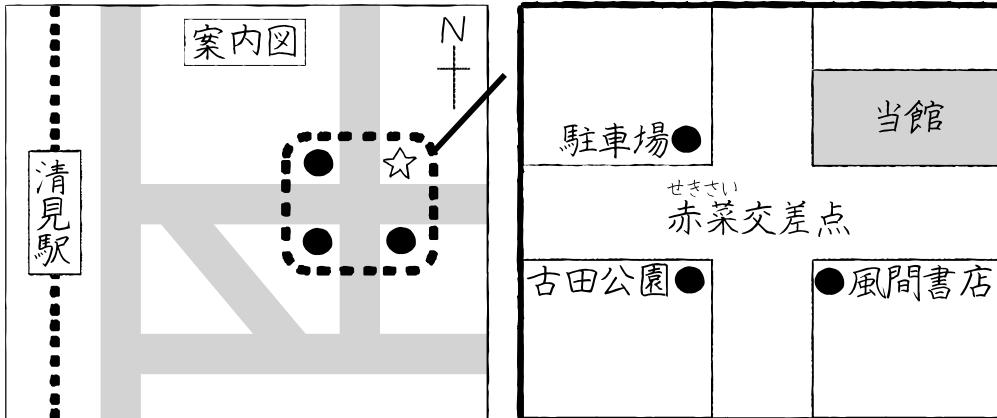
※設備利用料は別紙をごらんください。

4. 備品 当館ホームページにてご確認いただき、詳細はお問い合わせください。

5. ホームページ <http://kane.goukaku.ne.jp/> トル

6. 問い合わせ先 電話番号 050-2375-3428

7. 移転先住所 黒川市木元町3-2



以上

[受信者名] 梅の木医療専門学校  
校長 進藤みほ様

第119回(令和元年7月)日本語ワープロ検定試験 初段問題(文書作成II-指示文)

◆問題文を基に各指示、注意書きに従ってA4判1枚に体裁よく仕上げなさい。

1行の文字数は40文字以上とする。

- ◎書体の指示がない場合は、すべて明朝体を使用する。
- ◎ポイントの指示がない場合は、10.5ポイントに統一する。
- ◎入力文字、図形の形、線種、線の太さの指示がない場合、問題文のとおりにする。
- ◎表、グラフの文字の大きさ、書体の種類は問わない。なお、数値は半角文字にする。
- ◎塗りつぶしの色は問わない。ただし、文字が判読できる色にすること。
- ◎指示文の“”で囲まれた文字は問題文の文字を表し、以下の処理を行うこと。

1. 見出しへは、次の処理をしなさい。

- (1) 図形(塗りつぶし)を挿入し、中央揃えにすること。
- (2) “熱中症について”はゴシック、20ポイント、斜体、中央揃えにすること。

2. “近年、夏になると、全国的に”～“今後ますます増えると予測されています。”は段組み(2段)にしなさい。

3. “《発症する主な要因》”はゴシック、12ポイント、中央揃えにしなさい。

4. “★環境”、“★体の状態”は斜体、一重下線にしなさい。

5. “《熱中症はどれくらい起こっているのか》”はゴシック、12ポイント、中央揃えにしなさい。

6. “熱中症救急搬送人員数(夏季)”の表に次の処理をしなさい。

- (1) 表の形式(配置、文字位置、線の太さ)は問題文のとおりにすること。
- (2) 表内の上の見出しへは網かけにすること。
- (3) 合計を求めること。

7. 表を基にグラフを作成しなさい。

- (1) グラフの種類は、年ごとの月別救急搬送人員数を表す積み上げ横棒グラフにすること。
- (2) 配置、グラフタイトル、凡例は問題文のとおりにすること。

8. “熱中症を予防しよう！”はゴシック、16ポイント、網かけ、中央揃えにしなさい。

9. 四つの図形を挿入し、次の処理をしなさい。

- (1) 図形全体は中央揃えにすること。

### 熱中症について

近年、夏になると、全国的に暑い日が続き、熱中症にかかる人が増加しているといいます。テレビなどでもこの情報をよく見聞きするようになりました。これは、体温の異常な上昇を防ぐ仕組みがうまく機能しないときに起こる症状のことです。

年齢にかかわらず、誰でも発症する可能性があり、手当が遅れてしまうと重症化し、命に関わるケースもあります。地球温暖化などによる気温上昇に伴い、発症する人は今後ますます増えると予測されています。

#### 『発症する主な要因』

##### ★環境

気温や湿度が高くて風は弱く、日差しが強い日に起こりやすいといわれています。特に注意が必要なのは、涼しい日がしばらく続いた後、急激に暑くなった日や梅雨の晴れ間だといいます。

##### ★体の状態

激しい筋肉運動や長時間の屋外作業などで体内に大量の熱が生じたり、暑い環境に体が十分に対応できなかったりすると、発症する可能性が高くなるといいます。

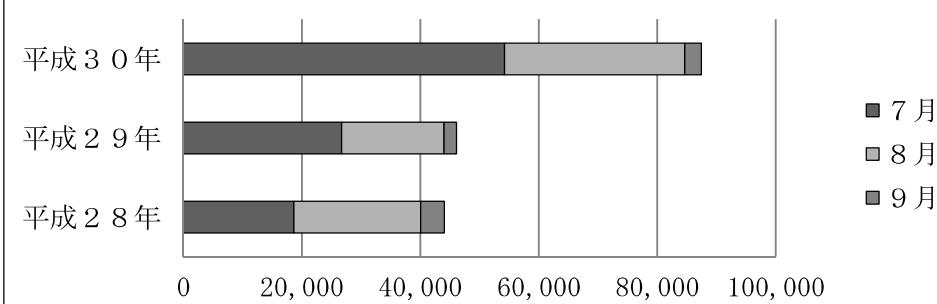
#### 『熱中症はどれくらい起こっているのか』

熱中症救急搬送人員数（夏季）

月	平成28年	平成29年	平成30年
7月	18,671	26,702	54,220
8月	21,383	17,302	30,410
9月	4,012	2,098	2,811
合計			

※単位：人

救急搬送人員数の比較



#### 熱中症を予防しよう！

外出するときは、暑さ指数を参考にしましょう。

水分を小まめに、塩分を程よく摂取しましょう。

吸湿性、通気性の良い素材の衣類を選びましょう。

エアコンや扇風機を適度に使用しましょう。